

令和5年度
水戸市への政策提言・要望に対する
回答

令和5年度水戸市への政策提言、要望に対する回答（目次）

■政策提言「世界三大都市型公園宣言を中心とした、未来へのレガシーを創造するまち」

1. 新たな視点で、スマートで持続可能な観光を提案するまちに向けて

- (1)世界三大都市型公園宣言を通じた新たな価値の創造〔新規提言〕…1
- (2)サイクルツーリズムの推進〔継続提言〕…1
- (3)オールシーズンでの観光誘客のための取り組み〔継続提言〕…2
- (4)「M i t o r i O」エリアから西の谷公園を経由した跨線橋の設置 .〔新規提言・継続提言〕…2
- (5)充実した観光インフォメーションセンターの設置および
水戸駅バスターミナル利用環境整備〔継続提言〕…3
- (6)団体客に対応できる大型観光バス駐車場の整備〔新規提言〕…4

2. 歴史・文化を知り、魅力を語り継ぐまちに向けて

- (1)水戸学の理念「文武不岐」の聖地づくりと武道ツーリズム〔継続提言〕…4
- (2)水戸市内の歴史をめぐる回遊性あるルート策定と
備前堀周辺地区の再開発による下市地区の活性化〔新規提言〕…5
- (3)歴史的遺産の整備と観光ボランティアの育成〔継続提言〕…6
- (4)武家社会が成立した中世の歴史遺産の発掘〔継続提言〕…7

3. 豊かな食文化を発信し、健やかな生活を提案するまちに向けて

- (1)学校給食の地産地消推進〔新規提言〕…7
- (2)全国納豆鑑評会の水戸での継続的開催誘致〔新規提言〕…8

■要望事項

1. 中小企業振興策

- (1)水戸市プレミアム商品券事業〔新規要望・継続要望〕…9
- (2)キャッシュレス決済の普及・促進〔継続要望〕…9
- (3)原油価格高騰の影響を受ける運輸事業者への支援〔継続要望〕…9
- (4)地元企業からの物品調達促進、公共事業優先発注継続と
公共工事の品質確保に合わせた適正価格・見積期間設定〔新規要望・継続要望〕…10
- (5)制度融資利子補給の継続〔継続要望〕…10
- (6)デジタル化促進による行政手続きのさらなる利便性向上〔継続要望〕…10
- (7)「みとっ子お仕事探検隊」への協力・支援継続〔継続要望〕…11

2. 環境および基盤整備

- (1)観光資源(ロマンチックゾーン・大塚池・成就院池周辺)の観光客受け入れ態勢の整備 .〔継続要望〕…11
- (2)千波公園周辺の環境整備〔継続要望〕…12
- (3)水戸市内の渋滞緩和〔継続要望〕…13
- (4)自転車通勤の促進および自転車・電動キックボードの利用増加に伴う
安全教育の実施〔継続要望〕…14
- (5)レンタサイクル「みとちゃり」のステーション拡充〔新規要望〕…14
- (6)中核市としての充実について〔継続要望〕…14

3. 中心市街地等地域活性化策

- (1)中心市街地における居住環境整備(利便性向上)〔継続要望〕…15
- (2)巡回タクシーの運行と新たな交通手段の整備検討〔継続要望〕…15
- (3)まちなか固定資産税軽減と企業立地助成制度の改正〔継続要望〕…16
- (4)空き店舗率の改善に向けた取り組みへの連携と支援および
支援地区の拡大〔新規要望・継続要望〕…16
- (5)『I B A R A K I F R E E W i - F i』設置施設の拡充および
W i - F iを活用したサービスの提供〔継続要望〕…16
- (6)中心市街地における防犯カメラの設置、設置助成金の創設〔継続要望〕…17
- (7)M i t o r i O(ミトリオ)周辺エリアの環境整備・イベント実施について〔継続要望〕…17

■政策提言に対する回答

1. 新たな視点で、スマートで持続可能な観光を提案するまちに向けて

〔新規提言／正副会頭〕

(1) 世界三大都市型公園宣言を通じた新たな価値の創造

- ①世界三大都市型公園宣言に向けた関係機関との連携・働きかけ
- ②コンテンツ強化による『イミ(意味)消費』の拡大

【回答】

①茨城県では、偕楽園を中心に隣接する千波公園や周辺緑地などを合わせて「偕楽園公園」と総称しています。その面積が約300ヘクタールにも及んでいること等から県では以前、中心市街地に位置する都市公園としては、ニューヨークのセントラルパークに次ぐ世界第二位の広さとなっていることをPRしていた時期もありますが、現在はその表現をしていないと伺っております。

日本三名園の一つである偕楽園と、千波湖を核とする自然豊かな千波公園は、中心市街地に隣接する本市のシンボル空間であり、市民の憩いの場であるとともに、多くの観光客が来訪する重要な観光拠点であります。

今後とも、茨城県と連携し、偕楽園や千波湖周辺の魅力を高め、ホームページやSNS等を積極的に活用しながら、広く発信してまいりたいと考えております。(公園緑地課)

②新たな消費の潮流である『イミ(意味)消費』につきましては、新たな水戸の魅力の発見や消費拡大につながる可能性があるかと認識しております。

そのため、貴所をはじめとする各団体等が積極的に取組を進めることができるよう、先進事例を調査・研究しながら、効果的な支援のあり方を検討してまいります。(商工課)

②御提言いただいた水戸市が誇る魅力的な各コンテンツとのコラボレーションにつきましては、国内最高峰の花火が千波湖の夜空を彩る水戸偕楽園花火大会に代表されるよう、相乗効果で多くの誘客が見込めるだけでなく、本市のイメージアップや認知度向上とあわせ、飲食や宿泊といった経済効果にも大いに寄与するものと認識しております。

また、これまで、偕楽園・千波湖周辺地区におきましては、貴所や水戸観光コンベンション協会が中心となり、豊かな自然や水戸徳川家ゆかりの歴史的な観光資源を活用した様々なまつりやイベントが開催されており、近年では、民間主体による「食」や「アウトドア」等をテーマにした取組も展開されているところであります。

水戸が誇る様々な地域資源を活用したこれらの取組は、市外・県外からの誘客はもとより、経済効果に資するものであることから、引き続き、広報や後援等PRにつながる支援を行いながら、貴所をはじめとする関係団体等とともに、コンテンツの強化、更なる磨き上げに取り組んでまいります。(観光課)

〔継続提言／アートとサイクリングで元気なまち創造委員会〕

(2) サイクルツーリズムの推進

- ①長期的展望に立ったサイクルツーリズムの推進
- ②民間施設におけるサイクルラックの設置増進

【回答】

①サイクルツーリズムにつきましては、県において、「奥久慈里山ヒルクライムルート」や「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」などのサイクリングコースを設定し、沿線周辺市町村と連携しながら、サイクルツーリズムを推進しているところです。本市も、組織の構成員として、また、両ルートのスタート地点所在地としての立場から、各種事業の推進を図っているところであります。

また、貴所主催の「水戸八景グルメライド」をはじめとした民間の取組につきましても、観光振興や自転車の利用促進への効果が期待できることから、積極的に周知を行うなど、引き続き支援してまいります。(交通政策課)

②民間施設へのサイクルラック設置増進につきましては、県が組織する「奥久慈里山ヒルクライムルート利活用推進協議会」及び「大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会」において、サイクリストにトイレや修理キットの貸出を行えるよう、構成市町村が窓口となり、希望する民間事業者などにサイクルラックや必要な物品を貸与するサイクルサポートステーション事業を実施しており、本市では、これまでに6か所のステーションが登録されております。

引き続き、県と連携し、サイクルサポートステーションの拡大を図ってまいります。

(交通政策課)

〔継続提言／観光サービス部会〕

(3) オールシーズンでの観光誘客のための取り組み

- ①市民公園を活用した市民協働イベント開催
- ②電動キックボードのシェアリングサービス実施
- ③インフルエンサーとのタイアップによる魅力発信

【回答】

①本市におきましては、植物公園において、「街を花と緑でいっぱいにする会」をはじめとする市民ボランティア団体による「花の感謝祭」への参加、「花と緑のボランティア」による催事ボランティアとしての活動、「アカザの杖ひろめ隊」や「草木染織同好会」による体験イベントの開催など、来園者と地元の方々が交流できる機会を設けております。

また、七ツ洞公園におきましては、「七ツ洞公園ガイドボランティア」が結成されており、来園者を御案内するとともに、ボランティア会員への講習会などを実施しております。

御提言の公園を活用した市民協働イベントの開催は、観光客と地元の方々との交流によるにぎわいや魅力の創出に非常に有効であると考えられることから、観光客と市民の協働による体験型イベントの開催等について、貴所を始めとする民間団体の御協力をいただきながら、ボランティア団体等と協議、検討を進めてまいります。（公園緑地課）

②電動キックボードにつきましては、道路交通法の改正により、新たな車両の種類として位置づけられた特定小型原動機付自転車に該当する乗り物であり、原動機を用いることで、人の力を必要とせず移動が可能なることから、次世代のモビリティとして、国内においても利用が始まっているものと認識しております。

観光周遊のための移動としましては、本市において、令和5年4月から電動アシスト付自転車を貸し出すまちなかシェアサイクル事業を開始したところであり、偕楽園や弘道館をはじめとする市内の拠点にステーションを設置し、観光客を含む、人々の移動ツールとして提供しているところでもあります。

電動キックボードを含む、特定小型原動機付自転車の本市での導入につきましては、シェアサイクルの利用状況や安全性を踏まえながら、導入の可能性について研究してまいります。

（交通政策課）

③SNSをはじめ情報の入手方法が多様化している近年、本市の魅力をより多くの方に伝えるには、行政だけではなく、市民や観光客など多様な視点を取り入れることが極めて重要であります。

そのため、本市では現在、SNS利用者と連携した本市の魅力発信として、水戸の魅力的な風景等の写真や動画に「#みとさんぽ」を付けてInstagramへ投稿してもらい、それを市公式Instagram上で紹介する取組を行っております。これにより、本市の認知度向上やファン獲得に向けて、一定の効果をもたらしていると考えております。

インフルエンサーの活用につきましては、これまで、水戸黄門漫遊マラソンにおいて、Instagram等で活躍するランニングインフルエンサーが参加し、マラソン完走を目指すランナーを応援する企画を実施してきたところでもあります。取組の拡大に向けましては、年間を通じた観光客増加への寄与など費用対効果を精査しながら、インフルエンサーの更なる活用について検討してまいります。

今後とも、SNS利用者等とさらに連携しながら、水戸の魅力の効果的な発信に努めてまいります。（みとの魅力発信課）

〔新規提言・継続提言／卸商業部会、公園都市文化創造委員会〕

(4) 「M i t o r i O」エリアから西の谷公園を經由した跨線橋の設置

【回答】

御提言の千波公園西の谷と千波湖中央北駐車場を結ぶ新たな跨線橋につきましては、都市計画決定している跨線橋と同様に、千波公園と中心市街地の回遊性向上に有効な方策である一方で、多額の予算を要することから、市の財政状況をはじめ、様々な観点から総合的に検討する必要があると認識しております。

本市といたしましては、千波公園と中心市街地の回遊性向上につきましては、当面、既存施設を活用する方針であります。現在進めておりますパークPFI事業におきまして、ペロタクシーやレンタサイクルの活用等を想定しており、ソフト施策の充実に向けて、協議、調整を行ってまいります。（公園緑地課）

〔継続提言／観光サービス部会、自動車・交通部会、食でブランディング委員会〕

(5) 充実した観光インフォメーションセンターの設置および水戸駅バスターミナル利用環境整備

①ハード面の充実

②ソフト面の充実

【回答】

①御提言いただいた観光案内所の移転につきましては、移設する場所や家賃等財源の確保など、解決すべき課題はありますが、おもてなしの拠点ともなる案内所の機能向上を図ることは、水戸を訪れる方々の満足度や利便性を高める有効な方策の一つであることから、これまで、運営主体の水戸観光コンベンション協会をはじめとする関係者とともに、最適な手法を検討してきたところであります。

現在、県の補助制度も活用しながら、観光客をはじめとする多くの方々にとって利用しやすくなるよう、対面式カウンターを改良し、レイアウトを変更するほか、営業時間外にも対応できるよう、デジタルサイネージを設置し、既存施設の機能強化を図ることとしているところであります。

今後とも、水戸駅改札口付近という立地的特性を生かしつつ、観光客等の満足度や利便性の更なる向上に努めてまいります。

観光案内所におけるレンタサイクルの貸し出しにつきましては、観光客等への利便性向上につながるものと考えられますが、既存施設では十分な貸出用スペースを確保することが困難であり、また、駅利用者や歩行者への安全対策の観点から、施設管理者等との調整が必要でもあります。

そのため、現在のところ、案内所でのサイクル貸出の計画はございませんが、引き続き、運営主体である水戸観光コンベンション協会と連携しながら、案内所職員による丁寧な説明対応はもちろんのこと、ホームページやSNS等を活用した分かりやすい利用案内に努めてまいります。

(観光課)

①水戸駅のバスロータリーにつきましては、路線バスの乗り場が方面グループ別に北口は6か所、南口は2か所に分かれています。一方で、同じ乗り場であっても方面が混在しているなど、観光客だけでなく、普段バスを利用する方でも複雑で利用しづらいという声が多数寄せられており、その改善が課題であると認識しております。

このことを踏まえ、現在、路線バス事業者において、バス事業のデジタル化が進められており、バスロケーションシステムの導入や、乗り換えアプリ向けのデータのオープン化などの取組を行っているところであります。

また、本市の取組としまして、泉町一丁目バス停の上下線におきまして、バスの接近情報などが表示できるスマートバス停を令和5年の6月末に試験的に設置したところであり、導入による効果について検証しているところであります。

今後につきましても、デジタル技術の進捗に合わせ、バス事業者と連携しながら水戸駅バスターミナルの利便性向上に係る取組を推進してまいります。

なお、電動キックボードの貸し出しにつきましては、「(3) オールシーズンでの観光誘客のための取り組み ②電動キックボードのシェアリングサービス実施」のとおりです。

(交通政策課)

②外国人観光案内所「カテゴリー3」の取得につきましては、提供できるサービスの向上につながるものと認識しておりますが、認定条件である英語以外の2言語以上での案内が常時可能な人材確保や、それに伴う人件費の財源確保等の課題があることから、引き続き、水戸観光コンベンション協会等関係者との協議を重ねながら、デジタルサイネージを活用した多言語対応策も含め、先進自治体の事例等の調査・研究を進めてまいります。

茨城県公認のVtuber「A I 茨ひより」につきましては、県有施設での活用を検証するため、県庁内の総合案内に期間限定で設置されたと伺っておりますことから、県による検証結果等動向を注視、確認しながら、デジタル技術を活用した案内所の機能強化策の一つとして、検討を進めてまいりたいと考えております。(観光課)

〔新規提言／観光サービス部会〕

(6) 団体客に対応できる大型観光バス駐車場の整備

- ①茨城県立歴史館周辺に、一時的にバスの乗降ができるバス待機場を整備
- ②千波湖周辺自家用車用駐車場の料金一律化

【回答】

①現在、茨城県が事業主体となって、好文亭表門付近にバスやタクシーの乗降場、駐輪場等も含めた身障者等用駐車場の整備が進められるとともに、県道常磐公園線沿いの既設駐車場を大型バス降車場として活用し表門からの入園を促進する取組について検討が進められております。

これらの駐車場の活用により、観光客の皆様には正門である表門から入園いただき、孟宗竹林や杉林を縫って、にわかには明るい好文亭や梅林そして千波湖を一望できる広場へ出る、徳川斉昭公の意図した陰から陽の対照の妙を味わっていただくことができると考えております。そして、千波湖西駐車場等からバスに乗車する周遊ルートが確立されることにより、偕楽園と千波公園双方の魅力を満喫いただけるものと期待しております。

今後とも、茨城県と連携し、表門からの入園を促すための施策をはじめ、偕楽園の借景である千波湖周辺の整備を進めるなど、年間を通して観光客が歩いて楽しめる環境の創出に向け、取り組んでまいりたいと考えております。(公園緑地課)

②本市のシンボル空間である偕楽園と千波公園は、市民の憩いの場であるとともに、多くの観光客が訪れる重要な観光拠点であり、市民の日常利用とともに、観光客に対応する駐車場を確保する必要がありますと考えております。

そのため、全ての駐車場を一律に有料、無料とするのではなく、市民の日常利用に配慮しつつ、観光客用の駐車場の確保や渋滞の緩和のバランスを図りながら、千波湖西駐車場を土日祝日限定で有料とするともに、梅まつり期間中においては、複数の駐車場を有料としております。

利便性の向上は、千波公園周辺の魅力を高める上で大変重要であり、交流人口の拡大による新たな活力、にぎわいの創出という効果もあるものと認識しており、令和6年度に供用開始を予定しているレイクサイドボウル跡地駐車場を含め、来園者に対し分かりやすい表示や情報発信を積極的に行うなど、混乱をきたさないよう配慮してまいります。(公園緑地課)

2. 歴史・文化を知り、魅力を語り継ぐまちに向けて

〔継続提言／観光サービス部会〕

(1) 水戸学の理念「文武不岐」の聖地づくりと武道ツーリズム

- ①水戸市民向け武道教室のコンテンツの拡充や、さまざまな武道が体験・見学できる機会創出
- ②藩校弘道館での定期的な演武と水戸市民協働でのイベント開催
- ③水戸東武館の隣接地に歴史資料館や新たな武道館の整備

【回答】

①②御提言いただいた水戸学の理念「文武不岐」に通じる武道・武術につきましては、日本の文化を感じることができるものとして、外国人観光客にとっても人気が高いものであることから、インバウンド観光を推進する上でも、重要な観光資源であると認識しております。

そのため、市民や観光客等多くの方々を訪れる水戸の梅まつりでは、弘道館の対試場を舞台として、水戸東武館等関係団体の協力のもと、武道や武術を披露していただき、水戸ならではの歴史や文化を体験していただいております。毎回、多くの来場者が訪れていることから、梅まつりには不可欠な催事となっております。

また、武道体験の受入を行っている水戸東武館におきましては、これまで、県や水戸観光コンベンション協会が主催するファミツアーやモニターツアーといった、国内外からの観光誘客に資する事業にも協力いただいております。本市といたしましても、水戸ならではの体験プログラムの一つとして、ホームページやSNSを通じた情報発信をしているところであります。

今後とも、関係団体と一体となって、本市の観光資源の更なる磨き上げに取り組みながら、その魅力を発信し、インバウンドを含めた観光誘客を図ってまいります。(観光課)

③水戸東武館の隣接地における歴史資料館の整備につきましては、市文化財に指定されている水戸東武館(道場・正門附堀)、北辰一刀流、新田宮流抜刀術等、本市ならではの歴史的特色に着目し、観光につなげていくことは、選ばれる観光まちづくりを目指す本市において、非常に意義のある御提言と認識しております。

こうした認識のもと、本市におきましては水戸東武館をはじめとする周辺の歴史的資源をハード・ソフト両面で戦略的に活用していくため、平成26年度に「弘道館・水戸城周辺地区の歴史ま

ちづくり基本構想」を策定し、弘道館・水戸城跡周辺地区を構成する歴史的資源として水戸東武館を位置づけるとともに、大手門・二の丸角櫓の復元整備や、地区に点在する歴史的資源を周遊する「水戸学の道」の整備を実施いたしました。

同基本構想におけるハード整備は、令和3年6月の二の丸角櫓のオープンをもって完了したところであり、新たな歴史資料館を整備する構想はございませんが、今後は事業の中心をハード事業からソフト事業へ移行し、水戸東武館、弘道館、大手門、二の丸角櫓等、地区内に点在する歴史的資源の利活用に注力してまいりたいと考えております。（歴史文化財課）

武道・武術を行うための施設の必要性は認識しておりますが、新たな武道館の整備につきましては、多額の整備費用を要するとともに、他の体育施設の整備要望も受けておりますことから、優先順位も含めて、整備方針について検討してまいります。（体育施設整備課）

〔新規提言／東部ブロック協議会〕

(2) 水戸市内の歴史を巡る回遊性あるルート策定と、備前堀周辺地区の再開発による下市地区の活性化

- ①歴史ある資源を活用した回遊性の高いルート策定と周知
- ②下市地区（備前堀周辺）の再開発による一体的な整備
- ③再開発による町並み整備後の取り扱うコンテンツの充実とPFIの活用

【回答】

①御提言いただいた下市地区を経由したルート策定と周知につきましては、下市地区は備前堀をはじめ、神社仏閣などを有する歴史的情緒豊かな地区であることから、それらと調和した景観整備のほか、地域と連携しながら、貴重な歴史的資源を活用し、商店街と地域資源との回遊性の向上を図るなど、地区の特性を生かしたまちづくりを推進しているところであります。

このような中、令和3年12月には、市民や観光客等の方々に気軽に自転車での散策や観光をお楽しみいただけるよう、備前堀や吉田神社等をめぐる「下市・吉田コース」を含む4つのモデルコースを新たに策定することとあわせ、PR動画を制作し、水戸観光コンベンション協会ホームページに掲載することで、下市地区の魅力発信とレンタサイクルの利用促進に取り組んでおります。

今後とも、水戸観光コンベンション協会をはじめとした関係機関等と連携・協力のもと、ホームページやSNS等を最大限活用しながら、引き続き、下市地区とあわせ、レンタサイクル事業の積極的な周知に努めてまいります。（観光課）

①シェアサイクルにつきましては、令和5年4月の事業開始以降、利用状況や利用者等からの要望を踏まえながらステーションを増設するなど、利便性の向上に努めているところであります。また、下市地区へのステーション設置につきましても現在検討を進めているところであります。

さらに、観光客や市民などに、シェアサイクルを利用して市内を散策してもらうための推奨ルートを提案するため、茨城大学と連携し、令和4年度から「水戸でポタリングプロジェクト」を立ち上げ、学生視点でのシェアサイクルによる市内周遊パンフレットの作成も進めているところであります。

下市地区を含めた周遊ルートの作成等につきましては、令和5年度に作成している前述のパンフレットにおいてルートを考案しているところであります。（交通政策課）

②下市地区につきましては、生活の視点から、バス交通の利便性も高く、医療機関や生活に密着した小売店等の生活インフラが充実しており、水戸市第6次総合計画において、本市の東部地区の地域生活拠点と位置付けるとともに、現在策定を進めている第7次総合計画においても、引き続き、地域生活拠点として位置付け、周辺地域の核となるよう、機能充実を図ることとしております。

備前堀沿道地区につきましては、平成14年に都市景観重点地区に指定し、平成15年度から和風な建物外観や自然素材を使った門、塀の整備等に対し助成を行うなど、歴史的親水空間と調和した風情ある景観形成に取り組んでまいりました。

あわせて、魅力あふれる商店街づくりに向けた取組といたしましては、店舗開業・出店を支援する空き店舗対策事業や商店街のにぎわいづくりを支援する商店街活力アップ事業を推進するとともに、下市タウンフェスティバルの開催を支援するなど、協働によるにぎわいづくりにも積極的に取り組んでいるところであります。

御提言の駐車場整備も含めた一体的な再開発、ハミングロードの再整備といった計画はございませんが、今後とも商店街が主体となった地域の特色等を生かした様々な取組を支援しながら、下市地区の活性化に努めてまいります。（政策企画課）

- ③ 下市地区につきましては、現在策定を進めている第7次総合計画におきましても、引き続き、地域生活拠点として位置付け、周辺地域の核となるよう、機能充実を図ることとしております。あわせて、歴史・文化系の拠点として備前堀周辺地区、こども・子育て支援の拠点として、はみんぐばーく・みとを魅力発信交流拠点として位置付け、機能向上を図りながら、特に、こどもや親子連れ、若い世代が楽しめる拠点づくりを推進することとしております。

御提言の民間資本を導入した飲食店等の施設整備につきましては、適した公共用地がないこと、周辺飲食店の民業圧迫につながる等々の大きな課題があると認識しております。また、下市地区の再開発といった計画はございませんが、今後とも商店街が主体となった地域の特色等を生かした様々な取組を支援しながら、下市地区の活性化に努めてまいります。あわせて、地域生活拠点としての特性も更に伸ばし、こどもから高齢者までが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。（政策企画課）

〔継続提言／西水戸ブロック協議会・アートとサイクリングで元気なまち創造委員会〕

(3) 歴史的遺産の整備と観光ボランティアの育成

- ① 水戸市内に点在する歴史的遺産を整備し、体系的に観光ルートを設定
- ② スポット周辺の案内や看板の整備と史跡遺跡の解説看板の整備
- ③ 観光客のニーズに合わせバス、自転車、徒歩など複数の移動手段を設定
- ④ 水戸市内の回遊性向上と、中心市街地の渋滞緩和のための取り組み

【回答】

- ① 御提言いただいた歴史的遺産を活用した観光ルートの設定につきましては、弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史的な遺産や景観を巡る「水戸学の道」を設定し、周遊マップによるPRのほか、保和苑や水戸八幡宮など、数多くの史跡が点在する保和苑周辺の散策用パンフレットによるPRなど、観光客等が水戸の歴史を感じながら回遊していただける取組を実施しております。

今後とも、楽しく、快適に歴史的遺産を巡っていただけるよう、散策ルートや周遊エリアを記載したパンフレット等の活用を図りながら、水戸の歴史や文化の情報発信に努めてまいります。（観光課）

- ② 観光施設等周辺における案内や看板の整備につきましては、これまで、旅の起点となる水戸駅の北口・南口をはじめ、偕楽園や弘道館等周辺に案内板を新設してきたほか、外国人観光客にも分かりやすく、快適に移動することができるよう、多言語表示が可能となるQRコード付きの盤面改修や、視認性のあるデザインを取り入れた路面表示の整備等にも積極的に取り組んできたところであります。

今後とも、各施設管理者との役割分担のもと、既存の案内板等を有効活用しながら、パンフレットやホームページなど、様々な手法により、観光情報の提供に努めてまいります。（観光課）

- ③ 観光客のニーズに合わせた移動手段のうち、ボランティアが同乗する専用バスにつきましては、イベント等の開催にあわせ、会場と観光施設等を無料で移動できる「観光漫遊バス周遊事業」を実施しております。運行に当たっては、観光案内ができる添乗員を同乗させ、車内ガイドのほか、パンフレット配布や乗り降りの補助といったおもてなしにも取り組んでいるところであり、利用者からの評価も高いことから、今後とも、移動手段として選定されるよう、事業の充実を図り、利用促進に努めてまいります。

水戸観光コンベンション協会が管理・運営するレンタサイクル、また、本市が令和5年4月から運営を開始したシェアサイクルにつきましては、各々まちなかの回遊や移動の手段の一つとして御利用いただいております。特に、シェアサイクルにつきましては、まちなかに配置した貸出・返却用の駐輪場を当初の10か所から14か所に増設するなど、利用状況が好調であることから、引き続き、レンタサイクルとの相乗効果を図りながら、水戸観光コンベンション協会とともに、利用しやすい環境づくりに努めてまいります。（観光課）

- ③ 本市における、観光客のニーズに合わせた移動手段の提供の取組につきましては、県内バス事業者が主体となって実施している「茨城Ma a S」及びJR東日本が主体となって実施している「ひたちのくに紀行」の二つのMa a Sと連携協力を進めているところであります。

これらのMa a Sの推進により、異なるバス事業者間での乗り換え案内サービスを提供するための基盤が整備されたほか、目的地に応じた旅行プランを自動で作成できるサービス等が提供されております。

今後、観光ニーズに合わせたMa a Sの活用につきましても、引き続き交通事業者等と連携しながら検討を進めてまいります。

水戸八景を取り入れたサイクリングコースにつきましては、茨城大学と連携し作成したサイク

リングマップにおいて、千波湖と青柳夜雨をコースに取り入れているところであります。

また、スマートフォンのナビゲーションアプリでの活用につきましては、自転車乗車時のアプリ利用の安全性等も考慮しながら、導入可能性について検討してまいります。（交通政策課）

- ④ 中心市街地外への大型バス駐車場の整備につきましては、御提言のとおり、中心市街地の渋滞緩和に寄与するものと認識しておりますが、駐車場の整備には、財源や適地の確保に加え、観光用のバスやボランティアも確保する必要があり、様々な課題があります。

現在、レイクサイドボウル跡地において、新たな駐車場の整備を進めているところでありますことから、その進捗状況を確認しつつ、偕楽園下駐車場や千波湖西駐車場といった既存施設の利活用とあわせ、路線バスやサイクル等の交通手段も活用しながら、回遊性の向上に努めてまいります。（観光課）

〔継続提言／西水戸ブロック協議会〕

（４）武家社会が成立した中世の歴史遺産の発掘

【回答】

本市は古代から地域支配の中心地となり、発展を遂げてきました。そのため、市内各所に、江戸時代以前（原始・古代・中世）の文化財が多く存在しており、これを整備・活用していくことは、教育面はもとより観光面においても大きな意義があると認識しております。

御提言をいただきました、発掘調査の推進であります。現在、本市では古代那賀郡の役所跡である国史跡台渡里官衙遺跡群や、中世江戸氏の重要城館である河和田城をはじめ、江戸時代以前の埋蔵文化財の発掘調査を数多く実施し、新たな史実が発見されているところです。

こうした埋蔵文化財の発掘調査の大半は開発行為に伴うものであり、現地における整備が難しい事例が大半でありますことから、本市におきましては、発掘調査で得た情報を細大漏らさず記録した発掘調査報告書を作成・刊行し、記録保存を図っているところです。

刊行した発掘調査報告書につきましては、図書館のほか、博物館・大学等の関連機関に納本しておりますが、国の基準により発行部数が限られているため、奈良文化財研究所が運営するホームページ「全国遺跡報告総覧」に全データをアップ・公開し、誰もが発掘調査の詳細な内容をご覧いただけるよう措置しております。

一方、発掘調査報告書は記述が専門的なことから、一般の方が必ずしも理解しやすい内容ではありません。そのため、本市におきましては、埋蔵文化財センターにおいて発掘調査の最新成果を盛り込んだ展覧会を毎年開催するなど、市民に成果を分かりやすく公表する取組に努めているところです。

令和５年度は、木葉下地区の古代生産遺跡である木葉下窯跡群に注目した企画展「MADE IN ABOKKE 須恵器からみた古代水戸の窯業」をセンターにおいて開催しているほか、市立博物館では令和６年２月より特別展「江戸氏 常陸戦国史を駆けた水戸城主」を開催し、発掘調査等の成果に基づく水戸の中世を広く紹介する予定です。さらには、令和５年度の「広報みと」裏表紙に「水戸の城さんぽ」を連載し、河和田城をはじめとする本市の中世城館を毎月紹介し、好評をいただいております。

今後ともこうした取組を継続し、発掘調査の成果について、広く市民に公開してまいります。

（歴史文化財課）

3. 豊かな食文化を発信し、健やかな生活を提案するまちに向けて

〔新規提言／食でブランディング委員会〕

（１）学校給食の地産地消推進

- ① 水戸市内産、茨城県内産の食材使用90%以上を目指す
- ② 学校給食地場農産物活用促進事業費などの予算増額

【回答】

① 本市の学校給食におきましては、児童生徒が、「食べる」という経験を通じて、「食」に関する様々な知識を習得し、自ら、健全な食生活を実践していく力を身につけることができるよう、食物アレルギー等に配慮しながら、様々な食材・食品を使用するものとしております。

そして、学校給食の食材・食品の選定に当たりますと、市内及び県内における生産量や流通量等のほか、価格の動向等を勘案しながら、可能な限り、市内や県内で収穫され、又は生産されたものを使用することを基本としております。

今後におきましても、学校給食における積極的な取組の推進に努めてまいります。

（学校保健給食課）

②学校給食において、水戸市ならではの「特色ある魅力的な献立」のために、旬の地場農産物を提供することは地産地消や食育の観点から重要であり、国の交付金も活用しながら予算の拡充を図ってきたところであります。今後とも学校給食における地場農産物の提供を推進してまいります。（農産振興課）

〔新規提言／食でブランディング委員会〕

（２）全国納豆鑑評会の水戸での継続的開催誘致

【回答】

御提言いただいた全国納豆鑑評会につきましては、主催者である全国納豆協同組合連合会が開催地を選定しており、1996（平成8）年2月の第1回東京大会を皮切りに、全国各地で開催されております。

2020（令和2）年2月の熊本市開催後は、新型コロナウイルスの影響により、開催が見送られてきたところでしたが、納豆製造事業者からの強い開催要望とあわせ、3年ぶりの開催に当たっては「納豆の名産地である水戸にしたい」との意見も踏まえ、令和4年11月の本市開催に至ったものと伺っております。

開催地については、これまで全国各地を持ち回りで開催されていることから、御提言の毎年開催は難しいと考えられますが、貴所が取り組まれている納豆食べ方コンテストをはじめ、民間団体や事業者等による機運醸成に資する取組が「納豆に対する愛情の深い県民性」として、主催者から評価もいただけていることから、引き続き、貴所の御支援、御協力を賜りながら、官民一体となって、「納豆のまち・水戸」のブランド力を高める取組を推進してまいります。（観光課）

■ 要望事項に対する回答

1. 中小企業振興策

〔新規要望・継続要望／小売商業部会、卸商業部会、水戸ファースト消費創造委員会〕

(1) 水戸市プレミアム商品券事業

- ①事業の安定実施に向けた独自財源確保
- ②子育て支援を重点対象としたプレミアム商品券の発行

【回答】

①②令和2年度から令和4年度にかけて実施したプレミアム商品券事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地域経済が落ち込む中、主な財源に国の臨時交付金を活用し、緊急的な対応として取り組んだものであり、地元消費喚起や地域経済の下支えに一定の効果があつたものと認識しております。

現在は、コロナ禍を乗り越え、経済状況が改善しつつあるところではありますが、一方で輸入物価の上昇に端を発する物価高の影響が継続していることから、このような状況を踏まえ、さらなる消費喚起策が必要であると考えられる場合は、財源の確保を含め事業の実施について検討してまいります。

また、これまで実施していた子育て支援枠の拡充についても、あわせて検討してまいります。

(商工課)

〔継続要望／情報文化部会・アートとサイクリングで元気なまち創造委員会〕

(2) キャッシュレス決済の普及・促進

- ①店舗へのキャッシュレス決済導入の推進・独自電子マネーの創設
- ②消費者へのキャッシュレス決済の利用促進

【回答】

①②店舗においてキャッシュレス決済を利用することにより、消費者にとっては、現金を持ち歩かなくてよい点や、支払いがスピーディーに行える点など、事業者にとっては、店舗運営の効率化や販売機会の増大など、両者にとって、様々なメリットが得られます。

一方で、初期費用やランニングコストなどの費用面、売上の現金化に時間がかかるなどの運営面など、事業者にとっての課題・デメリットもあると認識しております。

そのため、事業者のニーズを把握するとともに、先進事例を調査・研究しながら、キャッシュレス決済の導入支援策とともに、消費者への普及啓発について検討してまいります。(商工課)

〔継続要望／自動車・交通部会〕

(3) 原油価格高騰の影響を受ける運輸事業者への支援

- ①燃料購入費用などの一部補助
- ②燃料サーチャージ制(コスト増減に伴う別建て運賃)の導入
- ③トラック運送業に係る「標準的な運賃」の延長と周知徹底

【回答】

①本市におきましては、原油価格高騰の影響を大きく受け、緊急性が高いと考えられる、道路貨物運送事業者を対象に、事業継続を支援するため、支援金を支給いたしました。

引き続き、国や県の経済対策の動向を注視するとともに、事業者へのヒアリング等を行いながら、必要に応じて、支援策を検討してまいります。(商工課)

①水戸市では、燃料費等の高騰の影響を受け、運賃への価格反映を直ちに行うことが難しく、経営への負担が大きいバス及びタクシー事業者に対して、令和4年度及び令和5年度の二回にわたり、緊急支援として公共交通運行事業者緊急支援事業を行ったところです。

今後の更なる支援につきましては、社会情勢や国・県の動向を踏まえながら、検討してまいります。(交通政策課)

②道路貨物運送事業者における燃料サーチャージ制導入に向けた関係機関への働きかけにつきましては、国等の動向を踏まえながら、適切に対応してまいりたいと考えております。(商工課)

③燃料サーチャージ制の導入につきましては、市内に事業所のあるバス事業者が、現時点で当該制度の導入を希望していないと伺っております。今後、バス事業者の意向に変化があった場合は、関係機関への働きかけについて検討してまいりたいと考えております。(交通政策課)

③道路貨物運送事業者に係る標準的な運賃の時限措置延長に向けた働きかけや、関係機関等への周知につきましては、国等の動向を踏まえながら、適切に対応してまいりたいと考えております。
(商工課)

〔新規要望・継続要望／工業部会、建設部会、水戸ファースト消費創造委員会〕

- (4) 地元企業からの物品調達促進、公共事業優先発注継続と公共工事の品質確保に合わせた適正価格・見積期間設定
- ①地元企業からの物品調達促進および優先発注
 - ②見積価格・期間の適正化
 - ③公共工事の品質確保
 - ④コロナ対策・価格高騰・円安対策

【回答】

- ①本市におきましては、指名競争入札の業者選定に当たり、水戸市建設工事及び委託業務の契約事務に関する規程並びに水戸市物品調達等の契約事務に関する規程に基づき市内の有資格請負業者又は認定業者の保護育成に配慮して行うこととしておりますので、発注の際は、地元企業で取り扱うことができる工事等の発注及び物品の調達は地元企業の有資格請負業者又は認定業者を公平に指名し、地元企業の育成と発展に期するよう努めております。また、入札参加者の利便性を考慮し電子入札、電子調達の普及に努めてまいります。(契約検査課)
- ②工事費の積算におきましては、標準単価を基本として実勢価格との整合性を図り、速やかに改正単価を採用することや見積等を徴取するなど価格の妥当性を考慮しております。法定福利費につきましても、国及び茨城県の工事積算基準及び標準歩掛と同様に現場管理費率に計上して、予定価格に適切に反映しております。さらに、ダンピング受注の防止策として、最低制限価格制度や低入札価格調査制度の充実を図っており、引き続き、工事等の品質の確保及び適正な発注に取り組んでまいります。(契約検査課)
- ③公共工事の品質確保につきましては、公共工事の入札及び契約の促進に関する法律により、適正な執行と品質の確保が求められておりますので、電子入札を活用した公正公平な執行に加えて、計画的な発注や継続費を活用した年度をまたいでの執行による施工時期の平準化に努めております。発注支援の外注につきましても、工事発注の際に発生する様々な業務を補足することができ、民間参入促進に有効な手段と認識しております。今後とも、積極的に他自治体の事例などの情報収集に努めながら、公共工事品質確保のための適切な制度の活用を検討してまいります。
(契約検査課)
- ④新型コロナウイルスの感染拡大時におきましては、工事受注者に対して、国土交通省の「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に沿って感染拡大防止対策を徹底しながらの施工をお願いし、工事の一時中止や工期の延長の措置、感染症拡大防止対策に係る費用につきましては、国からの通知に基づき適切に対応してまいりました。今後、各種感染症の拡大がみられた場合におきましても、同様に、適切に取り組んでまいります。原材料価格や人件費の高騰、資材不足等の社会情勢の変化による影響につきましても、同じように国及び茨城県の通知に基づき対応してまいります。また、公共工事の予算の確保につきましては、事業の緊急性や必要性を精査した上で、財政状況を勘案しつつ可能な限りの確保に努めてまいります。
(契約検査課、財政課)

〔継続要望／金融・経営支援部会〕

- (5) 制度融資利子補給の継続

【回答】

自治金融などの制度融資の利子補給につきましては、中小企業の振興を図るため、引き続き、令和6年度も継続してまいりたいと考えております。
補給率の引き上げにつきましては、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などによる影響や、国・県の施策や融資利率の動向等を総合的に勘案しながら、必要に応じて検討してまいります。
(商工課)

〔継続要望／社会サービス部会〕

- (6) デジタル化促進による行政手続きのさらなる利便性向上
- ①スケジュールの明確化
 - ②デジタルファーストの考え方に基づくデジタル化の促進

【回答】

①本市のデジタル化の取組のスケジュールにつきましては、現在策定を進めている「水戸市デジタルまちづくりビジョン」の計画期間である令和10年度までの間に、ビジョンに位置付けたデジタル化にかかる取組を着実に実施してまいります。

また、デジタル技術の進歩は非常に速いことから、計画期間内においても、技術動向や社会の要請に合わせて、柔軟にビジョンの見直しを行うこととしています。

ビジョン策定に係る企業向けアンケートにつきましては、令和5年2月から3月にかけて実施しました。今回の調査対象は、水戸市で発行している「水戸市企業ガイドブック」に掲載されている市内80社を対象といたしました。今後、事業推進に当たって、アンケート等を実施する際には、貴所の御意見も伺いながら、対象の抽出方法についても検討してまいります。

(デジタルイノベーション課)

②行政手続のオンライン化につきましては、市民を対象とした手続だけでなく、企業・事業所等を対象とした手続についても積極的に拡大していく必要があるものと考えております。企業の行政手続は種類も多く、市役所を何度も訪問する必要もあることから、手続のオンライン化は、多くの企業にとって生産性の向上に繋がるものと認識しております。

企業等がそれぞれのニーズに合った適切なサービスを選択できる社会の実現を図るため、令和4年度に、「水戸市デジタルまちづくりビジョン」策定に伴う企業向けアンケートを実施し、現在、その結果を分析し、ビジョンの策定を進めているところであります。

今後、ビジョンに基づき、企業ニーズが高い手続等のオンライン化を優先的に検討を進め、利便性の高いデジタル化を推進してまいります。(デジタルイノベーション課)

〔継続要望／キャリア教育創造委員会〕

(7) 「みとっ子お仕事探検隊」への協力・支援継続

【回答】

本市におきましては、水戸スタイルの教育の一つである「キャリアプラン」において、体験学習の充実を位置付け、職場体験学習を実施しております。貴所をはじめ、関係各所の御協力のもと、各学校に対し、職場見学や職場体験等の協力を得られる事業所について情報提供を行い、キャリア教育の視点から教育効果について助言・指導を行っております。

特に、中学生の職場体験の受入れにつきましては、平成30年度から、貴所と水戸市教育委員会の間で協定を締結することで、学校が職場体験活動事業所を選定しやすくなるなど、職場体験活動の更なる充実にご協力を賜り、心から感謝いたします。

また、貴所のホームページには、キャリア教育創造委員会作成の中学生職場体験受入れ企業MAPを掲載いただき、各学校の事業所選定に活用させていただいております。

学校においては、全ての教科・領域におきましてキャリア教育の視点を持って教育活動を行っており、職場見学又は職場体験を実施する学校が増えております。「みとっ子お仕事探検隊」につきましても、児童の興味・関心が高く、引き続き、児童・保護者への周知について協力してまいりますと考えております。

今後とも、貴所との連携を深めるとともに、児童・生徒の発達段階を踏まえ、系統的・発展的なキャリア教育の推進に努めてまいります。(教育研究課)

2. 環境および基盤整備

〔継続要望／西水戸ブロック協議会、西部ブロック協議会〕

(1) 観光資源(ロマンチックゾーン・大塚池・成就院池周辺)の観光客

受け入れ態勢の整備

<共通>

- ①受入環境整備と情報発信の拡充
- ②観光教育の普及・促進
- ③イベントの開催

<ロマンチックゾーン周辺>

- ④水戸北スマートインターチェンジの利用促進とPR拡充
- ⑤旧生涯学習センター跡地の活用

<大塚池・成就院池周辺>

- ⑥水質改善・水環境整備

【回答】

①<ロマンチックゾーン周辺>

ロマンチックゾーンの中心に位置する保和苑につきましては、二十三夜尊桂岸寺に隣接し、池に築山を配した純日本庭園であります。これまでに、西側入口付近の老朽化したネットフェンスを撤去し、純日本庭園に調和した竹垣、門を整備するとともに、トイレの洋式化を行ったところでございます。今後とも、来園者が快適に安心して保和苑の魅力を味わっていただけるよう、園路の整備を年次的、計画的に進めてまいりたいと考えております。（公園緑地課）

①<大塚池・成就院池周辺>

大塚池公園につきましては、周辺地域の都市化が進む中において、水と緑が醸し出す良好な癒しと憩いの空間として、市民をはじめ、多くの方々に利用され、親しまれております。これまでに、園路の整備や修繕に取り組んでいるところであり、今後とも、市民に加え多くの観光客に訪れていただけるよう、トイレの年次的な改修に加え、案内標識、駐車場の整備等についても検討し、更なる魅力向上に努めてまいります。（公園緑地課）

②御要望いただいた観光教育の普及・促進につきましては、令和3年2月に、茨城大学生との協働により、保和苑周辺散策用のパンフレットを製作し、市内外においてPRしたほか、近年のあじさいまつりにおきましては、近隣学校の学生にオープニングセレモニーでの司会やステージイベント、体験ブースの運営補助を行っていただくなど、まつりへの参加・参画機会を増やしてきたところであります。

令和5年度におきましては、新たな取組として、近隣菓子店と水戸商業高校生との協働によるスイーツの開発・販売を行ったほか、常磐大学生がまつりのPR動画を作成し、それぞれのSNSでまつり情報を発信していただき、更なる誘客に取り組んでいるところであります。

今後とも、地域と一体となった様々な取組を通して、より多くの若い世代が集うエリアに成長させていくとともに、地元学生の積極的な参加・参画機会の創出により、観光教育の普及・促進にも努めてまいります。（観光課）

③イベントの開催につきましては、地元住民等で組織する水戸のあじさいまつり実行委員会におきまして、およそ半世紀にわたり、あじさいまつりが開催されてきたところであります。また、保和苑周辺史跡観光連絡協議会においても、あじさいが見頃となるまつり期間中に苑内のライトアップに加え、散策マップの作成や観梅時期にあわせた早春のスタンプラリーの開催など、苑内外を歩いて楽しめる取組が実施されているところであり、地元商店会が中心となったイベントも開催されております。

今後とも、様々な機会を捉えて、可能な限り多くのイベントを開催できるよう、地域と一体となって保和苑及び周辺史跡の魅力を高め、誘客につながる取組について検討してまいります。

（観光課）

④水戸北スマートインターチェンジにつきましては、平成21年度にハーフインターとして整備され、その後、令和元年度にフルインター化となりました。供用開始以降、東日本大震災や令和元年東日本台風により利用ができない期間に、一時的に利用が落ち込んだ時期があるものの、利用交通量は右肩上がりとなっております。

これまで、東日本高速道路株式会社管轄エリアのパーキングエリア等へのポスターの掲示や市が発行するパンフレットの交通案内欄への記載などにより利用促進を図ってきたところであり、引き続き、利用促進に取り組んでまいります。（交通政策課）

⑤県の旧生涯学習センター跡地につきましては、現在、売却の手続きが進められているところであり、駐車場やイベント等として利用することはできませんが、引き続き、地域の方々とも意見交換しながら、現在進めている保和苑内の環境整備とあわせ、ロマンチックゾーンにおける受入環境の充実について検討してまいります。（観光課）

⑥大塚池につきましては、河川からの流入など、まとまった水源がないことに加え、周辺地域の宅地化に伴い、水源涵養地であった樹林地が減少したことなどにより、水質悪化が進行しており、水質改善が重要な課題であると認識しております。水質浄化に向けた取組として、これまで、民間企業との協働事業により、アオコ除去装置を設置する他、道路の雨水流入工事や井戸の設置工事を実施するなど、水源の獲得に努めております。

今後の予定としましては、現在、公園南西側において、地元の皆様からも期待の声が寄せられている、アオコを滞留させないための水門の改築設計を進めており、令和6年度以降の工事完成を目指してまいります。

今後とも、地域の拠点公園として、良好な水辺環境の確保に向け、地元の皆様からの御意見を
取り入れながら、水質浄化に努めてまいります。（公園緑地課）

- ⑥大塚池周辺の公共下水道整備につきましては、整備が完了しており、成就院池周辺につきましても、整備を進めているところです。

良好な水辺環境の形成を図るため、今後とも継続して整備を行うとともに、整備済みの区域におきましては、公共下水道への接続に関する啓発活動を行い、より一層の接続の促進に努めてまいります。（下水道計画課）

〔継続要望／情報文化部会〕

（２）千波公園周辺の環境整備

- ①レイクサイドボウル跡地周辺の駐車場整備
- ②レイクサイドボウル跡地周辺の渋滞緩和
- ③新たなモデルルートの策定
- ④フリーWi-Fiの環境整備

【回答】

- ①②レイクサイドボウル跡地の駐車場につきましては、千波公園周辺の既存駐車場の状況を考慮し、乗用車に加え大型バスの駐車スペースを配置することとしております。現在の千波湖西駐車場より約40台多い約210台分を整備する計画であり、周辺の県及び市の駐車場を合わせると、千波湖周辺には1,000台を超える駐車場が整うこととなります。

また、県道からレイクサイドボウル跡地駐車場への進入路及び県道へ接続する千波湖園路部に右折専用レーンを新たに整備したところであり、来園者に対し分かりやすい表示や情報発信を積極的に行うなど、混雑緩和に努めてまいりたいと考えております。（公園緑地課）

- ③シェアサイクルにつきましては、令和5年4月の事業開始以降、利用状況や利用者等からの要望を踏まえステーションを増設するなど、利便性の向上に努めているところであります。

また、観光客や市民などにシェアサイクルを利用して、市内を散策してもらうための推奨ルートを提案するため、茨城大学と連携し、令和4年度から「水戸でボタリングプロジェクト」を立ち上げ、学生視点でのシェアサイクルによる市内周遊パンフレットの作成も進めております。

自転車を活用した新たなモデルルートの作成につきましても、令和5年度に、中心市街地や千波湖など、市内の主要なスポットを取り入れた周遊ルートを同パンフレットにおいて検討しているところであります。（交通政策課）

- ④本市におきましては、平成26年から、国内外からの旅行者や災害時の避難者の情報収集を可能とする環境として公衆Wi-Fi環境の整備を進めており、現在、水戸観光案内所、水戸芸術館等の観光拠点や市民センター等の防災拠点の53か所に公衆Wi-Fi環境を整備し、「IBARAKI FREE Wi-Fi」として、県内共通規格により運用を行っております。

「千波公園」周辺地域におきましては、観光拠点として、好文Cafeに公衆Wi-Fi環境を設置し、来園者の皆様に御利用いただいております。

千波公園の周辺におきましては、茨城県が偕楽園公園内に2か所、近代美術館内に1か所を設置しているほか、様々な事業者様においても「IBARAKI FREE Wi-Fi」を整備いただいております。本市の観光拠点とあわせて、観光客の利便性及び周遊性の向上に寄与しているものと考えております。

Wi-Fiをはじめとする情報通信に係る技術の進展は、非常に速く、変化も大きいことから、最新の技術動向も注視しながら、今後の整備について検討してまいります。（デジタルイノベーション課）

- ④千波公園におきましては、現在、好文カフェ内においてフリーWi-Fi環境が備わっており、利用者から好評を得ております。御要望のとおり、屋外で使えるフリーWi-Fiは、おもてなしの向上につながる有効な手段であることから、現在取り組んでいるパークPFI事業の中でも検討してまいりたいと考えております。（公園緑地課）

〔継続要望／自動車・交通部会、西水戸ブロック協議会〕

（３）水戸市内の渋滞緩和

【回答】

国土交通省常陸河川国道事務所では、茨城県内の移動性及び交通安全性の向上を検討するため「茨城県移動性・安全性向上委員会」を設置しており、その中で、パブリックコメント等により渋

滞が発生するとの意見のあった交差点等について、茨城県内の主要渋滞箇所としてホームページ等で公表しております。

市内におきましては52箇所が主要渋滞箇所として位置付けられており、国・県・市が各々所管する道路を、委員会の報告等を参考に、渋滞解消に向け対策を講じているところです。令和5年9月には、本市を南北に連絡する主要幹線道路として、都市計画道路3・3・16号梅香下千波線（さくら通り）が全線開通し、中心市街地に集中する交通渋滞の軽減に大きく寄与するものと期待されることです。また、県においても酒門六差路交差点周辺の渋滞緩和を図るべく、都市計画道路3・3・2号中大野中河内線酒門工区の整備を進めているところです。

今後とも引き続き、市内の渋滞解消を目指し、国・県等の関係機関との調整を密にしながら整備の検討を進めてまいります。（建設計画課）

〔継続要望／自動車・交通部会、アートとサイクリングで元気なまち創造委員会〕

（4）自転車通勤の促進および自転車・電動キックボードの利用増加に伴う安全教育の実施

①自転車通勤の奨励

②ヘルメット着用率および自転車のマナー向上に向けた普及・啓発活動の強化

【回答】

①水戸市では、自転車通勤を推奨するため、連携中枢都市圏の9市町村で取り組むエコ通勤チャレンジウィーク等を実施しています。

引き続き、自転車通勤の環境向上のため、通行空間の整備を進めながら、自転車通勤メリットをPRしていくこととし、自治体対抗の自転車通勤キャンペーンにつきましては、都市規模や地理的状況の違い等もあることから、実効性を考慮した上で検討してまいります。（交通政策課）

②本市におきましては、NPOと協働で小学校2年生を対象とした「みんなの交通安全教室」を実施し、茨城県トラック協会の協力のもと、トラックの死角や内輪差等について、実車を使用した体験型の教室を開催し、注意喚起をしております。また、高学年の小学生及び中学生を対象とした交通安全教室では、ヘルメットの着用を含めた自転車のルール遵守について指導を行っており、これらの各教室は、市内の小・中学校において定期的実施しております。なお、キックボードにつきましても、市ホームページや交通安全教育等を活用し、周知を図ってまいります。

今後とも警察等と連携し、自転車の安全利用と交通事故防止に努めてまいります。

（生活安全課）

〔新規要望／南部ブロック協議会〕

（5）レンタサイクル「みとちゃり」のステーション拡充

【回答】

シェアサイクルにつきましては、スマートフォンアプリを利用し、24時間、市内14か所のステーションのどこでも貸出、返却ができ、利用時間に応じた料金体系となっていることが特長となっております。

一方、レンタサイクルにつきましては、日中の決められた時間に、水戸駅と千波湖にある有人の貸出所において定額で貸し借りすることが特長となっております。

そのため、利用時間やスマートフォンの有無など、利用者のニーズに合わせて、シェアサイクルとレンタサイクルを使い分けて利用いただいているものと考えております。

また、今後のシェアサイクル事業の拡大につきましては、市内の各拠点間のネットワークの構築を図ることを基本として、ステーションの配置を検討するとともに、利便性を保つため、自転車ラック数に対して適切な台数となるよう、自転車の増台を図ってまいります。（交通政策課）

〔継続要望／建設部会〕

（6）中核市としての充実

①水戸市民の意見を集約する意見交換会の開催

②アンケート調査結果の活用

【回答】

①本市におきましては、市民意向を市政に反映させるため、市民懇談会や大学との連携による行政懇談会を開催するほか、市政モニター制度やインターネットアンケートの活用を図るなど、広聴機会の充実に取り組んでいるところであります。

また、市民、事業者等との連携により様々な課題や社会の変化に対応できるまちを目指し、様々な世代等から声を聴くことができる手法についても取り組んでいるところであります。

令和5年度におきましても、水戸市第7次総合計画の策定にあわせ、市民懇談会を6回開催しております。

御意見のありました意見交換会につきましても、御要望にあわせ実施してまいりたいと考えております。(政策企画課)

- ②市民一人アンケートにつきましては、市政全般の満足度や新たな課題について市民の皆様の意見を伺ったものであります。新たな都市づくりの基本方針となる第7次総合計画の策定や今後の政策立案において、十分に活用していくことが重要であると考えております。

令和6年度からスタートする水戸市第7次総合計画の策定に当たりましては、アンケート結果について、しっかりと分析を行い、適切に計画へ反映してきたところであります。

また、計画の策定段階に応じて意見公募手続を実施し、計画の内容について、市民の皆様から御意見をいただくとともに、地域住民主催の市民懇談会や行政懇談会の開催、ICTを活用したインターネットモニター制度によるアンケート調査を実施するなど、様々な市民参画の手法を取り入れ、市民との協働による計画づくりを進めたところであります。

計画に位置付けた各種事業の実施に当たりましても、市民意向の反映に努め、市民の皆様とともに、まちづくりを進めてまいります。(政策企画課)

3. 中心市街地等地域活性化策

〔継続要望／中部ブロック協議会〕

(1) 中心市街地における居住環境整備(利便性向上)

- ①施設誘致について
- ②施設誘致計画の具体化

【回答】

- ①近年、中心市街地でも徐々に地域の方々の生活を支えるスーパーマーケットやドラッグストアなどの店舗が増えつつあります。また、令和6年には、大町にあります茨城県知事公館跡地に、新たにスーパーマーケットが出店する見込みであり、地域の方々の生活利便性の向上に寄与するものと考えております。

一方、三の丸や泉町、水戸駅南口など、本市の中心市街地やその周辺の地区においては、マンションの開発・建設が進んでおり、今後更なるまちなかの居住人口が増加していくことが見込まれており、スーパーマーケット等の商業施設へのニーズは、引き続き高いものと考えております。

そのため、更なる中心市街地の生活利便性の向上に向け、中心市街地店舗、事務所等開設促進補助金等の周知を図りながら、商業施設の立地促進に努めてまいります。(商工課)

- ②まちなかにおける商業施設等の誘致につきましては、中心市街地店舗、事務所等開設促進事業等の補助制度の周知を図りながら、立地促進を図っているところであります。

今後、誘致計画の策定を含め、より効果的な事業所誘致のあり方について、検討を進めてまいります。(商工課)

〔継続要望／中部ブロック協議会〕

(2) 巡回タクシーの運行と新たな交通手段の整備検討

- ①巡回タクシーの整備検討
- ②新たな交通手段の整備検討

【回答】

- ①水都タクシーは、公共交通が不足する交通空白地区の方々の移動手段を確保することを目的として、タクシーの利用閑散時間帯である9時から16時までの間、市でタクシーを借り上げ、自宅から指定目的地までの区間の移動手段を提供する制度です。

この制度は、公共交通空白地区等の移動手段を確保することを目的として実施しているものであり、病院や商業施設など以外を目的地とする場合は、駅やバスターミナルなどの交通結節点まで利用いただき、そこから鉄道やバス等の公共交通に乗り換えていただくこととしております。

御提案の呼び出しバスのような利用者が自由に出発地点と目的地を設定し、水戸市内を自由に移動できるシステムを公的に導入することは、本市の場合、既存の公共交通を圧迫し、路線バスやタクシーの衰退を招く懸念があることや、多大な行政負担を伴うため、現時点での実施は難しいものと考えております。(交通政策課)

<p>②令和4年度に実施されたグリーンスローモビリティの実証実験は、水戸市を含めた官民の幅広い関係者が参画する「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会」が、中心市街地における新たな移動モビリティのニーズを調査することを目的に実施したものです。</p> <p>実証実験の結果、乗車可能人数が少ないことなどから1便当たりの乗車が2.58人とどまったこと、人件費や車両リースに年間約2千万円の費用を要し運営コストが高額であること、既存の公共交通との住み分けが必要なことなど、多くの課題が見つかりました。従いまして、現時点においてグリーンスローモビリティの導入は、現実的に難しいと考えております。</p> <p>しかしながら、御提案の小さなエリアを巡回する交通手段につきましては、公共交通空白地区等の住民にとって有効な移動手段となりうるものであることから、AIによる配車や自動運転などの新たな技術の実用性などについて、交通事業者と連携しながら調査・研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(交通政策課)</p>
<p>【継続要望／小売商業部会】</p> <p>(3) まちなか固定資産税軽減と企業立地助成制度の改正</p>
<p>【回答】</p> <p>本市におきましては、地域経済の活性化及び雇用の創出を図るため、市独自の支援制度である企業立地促進補助制度を活用し、積極的に企業誘致活動を展開しております。</p> <p>中心市街地における商業機能の誘致につきましても、一定の要件のもと対象としており、固定資産の取得費や改装費に対する補助のほか、土地・建物・償却資産に係る固定資産税が3年間免除になります。</p> <p>また、対象面積が500㎡に満たない場合は、中心市街地店舗、事務所等開設促進補助金やまちなか空き店舗対策補助金などの他の支援制度の活用促進を図っております。</p> <p>今後、更なる中心市街地への出店がしやすい環境づくりに向けまして、現在の支援制度の効果検証を進めながら、より事業者が利用しやすい制度となるよう、必要に応じて、要件等の見直しを検討してまいります。(商工課)</p>
<p>【新規要望・継続要望／中部ブロック協議会・西水戸ブロック協議会】</p> <p>(4) 空き店舗率の改善に向けた取り組みへの連携と支援および支援地区の拡大</p> <p>①ワグテイル利用者への案内 ②各種支援制度の更なる周知 ③各種支援制度の対象地域拡大</p>
<p>【回答】</p> <p>①ワグテイルにおきましては、創業希望者一人一人に寄り添ったきめ細かな創業支援を実施するとともに、若者の創業に対する機運醸成や、創業希望者のコミュニティ形成に繋げるためのセミナー等の実施を通じ、創業希望者や若者が交流できる場づくりに注力しているところです。</p> <p>上記の取組に加え、今後とも、空き店舗率の改善に向けて、創業希望者等がまちなかへの新規出店につながるよう、貴所やまちづくり会社など、関係機関が実施する取組などと連携を図りながら、その周知に努めてまいります。(商工課)</p> <p>②まちなかにおける空き店舗の解消に向けましては、サテライトオフィス等開設促進補助金をはじめとする各種補助制度について、広報紙等による一層の周知を行うとともに、事業者が活用しやすい制度になるよう、必要に応じ、見直しを行いながら、制度の更なる活用促進を図ってまいります。(商工課)</p> <p>③空き店舗対策事業につきましては、まちなか空き店舗対策補助金として、一定の店舗等が集積、連担する中心市街地や下市地区を対象に、空き店舗を活用した新たな出店を行う方に対して、内装工事など、その出店に係る費用の一部を助成しております。</p> <p>赤塚地区への対象地域の拡大につきましては、店舗等の集積状況を踏まえるとともに、事業者ニーズの把握に努めながら、支援策のあり方を検討してまいります。(商工課)</p>
<p>【継続要望／中部ブロック協議会】</p> <p>(5) 『I BARAKI FREE Wi-Fi』設置施設の拡充およびWi-Fiを活用したサービスの提供</p> <p>①「I BARAKI FREE Wi-Fi」設置施設の拡充 ②Wi-Fiを活用したサービスの提供</p>

【回答】

①本市におきましては、市民センターをはじめ、水戸観光案内所、水戸芸術館等53か所にWi-Fi環境を整備し、「IBARAKI FREE Wi-Fi」として、県内共通規格により運用を行っております。

設置場所につきましては、水戸市及び茨城県の公式ホームページに掲載しているほか、Wi-Fi設置施設へのステッカーの掲示などにより周知を行っております。さらに、NTT東日本が提供する「Japan Connected-free Wi-Fi」として、同社のHPにおいて、インバウンド向けの周知も実施しております。

Wi-Fiをはじめとする情報通信に係る技術の進展は、非常に速く、変化も大きいことから、最新の技術動向も注視しながら、今後の整備について検討してまいります。

(デジタルイノベーション課)

②Wi-Fi環境を活用したサービスの提供につきましては、市民はもとより、インバウンドを含めた観光客にとって必要なインフラとなっていることから、市ホームページや観光パンフレットにて、Wi-Fi設備の設置状況について情報発信に取り組んでいるところであります。

今後につきましては、Wi-Fi環境を活用したクーポン券やデジタル地域通貨等の地域での消費喚起策について検討を進める中で、商業振興に寄与する仕組みづくりを検討してまいります。

(商工課)

〔継続要望／小売商業部会、情報文化部会、卸商業部会〕

(6) 中心市街地における防犯カメラの設置、設置助成金の創設

- ①市街地における防犯カメラの継続的な増設
- ②民間への防犯カメラ設置補助創設
- ③防犯カメラの増設による犯罪抑止力検証データの公表

【回答】

①②③防犯カメラにつきましては、犯罪による被害の未然防止や施設の適正管理等を目的として、官民を問わず設置が進んでいる状況にあります。

本市におきましては、人通りが多く防犯上も重要な場所として、水戸駅・赤塚駅・内原駅周辺や大工町の繁華街などに令和4年度末までに65台、市民センターや学校をはじめとする公共施設を含めますと約800台のカメラを設置しており、捜査機関への画像データの提供はもとより、市民の皆様の安心感の醸成や犯罪の未然防止につながるなど、一定の効果を得ていると考えております。

令和5年度は、警察との協議により、水戸駅周辺を中心として防犯カメラ4台の増設を予定しており、今後も警察や関係機関などと十分に協議しながら、効果的な設置場所等を継続して検討し、整備を進めてまいります。

次に、防犯カメラの助成制度の創設につきましては、市民と行政の協働による防犯カメラの設置を促進し、安全対策の向上にもつながることから、他の自治体における先進事例の調査研究と併せて、犯罪抑止の効果の公表についても情報の収集に努めてまいります。(生活安全課)

〔新規要望・継続要望／自動車・交通部会、中部ブロック協議会〕

(7) MitoriO(ミトリオ)周辺エリアの環境整備・イベント実施

- ①「満空表示板」の設置箇所を中心市街地に入る前に確認できるよう、大工町側と水戸駅側の双方向に設置。
- ②公共交通機関の利用促進
- ③京成百貨店西側歩道の修繕・整備
- ④千波公園西の谷の設備改修・修繕、回遊性向上の取り組み

【回答】

①市民会館への来館者の駐車場につきましては、空き駐車場を探す車による交通渋滞が懸念されたことから、周辺の4箇所の駐車場(水戸京成パーキングプラザ、泉町駐車場(国道50号地下)、五軒町地下駐車場(芸術館地下)、五軒町立体駐車場(芸術館東側))の満空情報を表示する「満空表示板」を茨城いすゞビル下の交差点付近に設置する計画としていましたが、令和5年7月の市民会館の開館から現在に至るまで、懸念されていた市民会館に起因する交通渋滞はほとんど確認できない状況です。

一方で、御指摘のとおり、イベント開催時の京成百貨店へ向かう車による渋滞は従来からの懸案事項でありますので、「満空表示板」につきましては、今後の交通渋滞の発生状況や各駐車場の満空状況等を踏まえながら、必要性や設置場所、対象とする駐車場などをゼロベースから再度

検討してまいりたいと考えております。（泉町周辺地区開発事務所）

- ②御要望いただきました公共交通機関の利用者へのクーポンの発行等につきましては、その実施方法や費用負担の考え方等を整理する必要があることから、今後の検討課題とさせていただきます。

一方で、本市としましては、公共交通の利用を促進する立場として御要望の内容を参考にしながら、公共交通の利用促進を検討してまいります。

今後につきましては、Mitori0の各施設の催事開催時の車両の混雑具合に留意しつつ、引き続き、指定管理者などと協力し、Mitori0への誘客を促進してまいります。（新市民会館整備課）

- ③京成百貨店の周囲の歩道につきましては、建物が壁面後退(セットバック)した部分を歩道状空地とし、本来の歩道部分と一体的な整備をすることで、ゆとりある歩行者空間を実現しているところです。

本件要望において写真で例示していただいた車寄せ部分につきましては、道路に属する箇所ではあるものの、実質的には京成百貨店がほぼ専用的に使用しているところであり、また、これ以外の道路に属さない歩道状空地の部分でも石畳等の修繕の必要がある箇所が散見されることから、京成百貨店や地権者等と「市民会館周辺歩道との統一性」も含めて協議しつつ対応を検討してまいります。（道路管理課）

- ④千波公園西の谷の階段等の劣化につきましては、現場を確認しており、現在は公園利用者に危険が及ばないように修繕に着手しているところです。

千波公園西の谷は、その立地特性から、中心市街地と偕楽園、千波湖をつなぐ重要な役割があると認識しており、民間事業者や関係団体と連携したイベントや学習会等の開催とともに、ホームページやSNS等の積極的な活用により、西の谷の認知度向上に努めてまいります。

（公園緑地課）